

# 麻疹（はしか）について



最近、麻疹（はしか）について、ニュースなどでよく聞くようになりました。

2015年3月27日、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本が麻疹の排除状態にあることが認定され、排除後は、海外からの輸入例と、輸入例からの感染事例のみを認める状況となっています。コロナ禍ではほとんど確認されませんでした。今年3月22日現在、海外渡航者を中心に少なくとも20人となり、昨年1年間の3分の2を超えています。

## 麻疹（はしか）とは

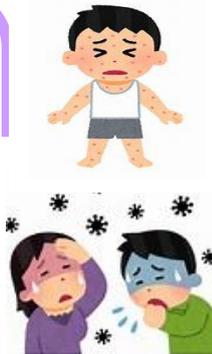
麻疹（はしか）は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性感染症です。

感染経路は、**空気感染、飛沫感染、接触感染**で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その**感染力は非常に強い**といわれています。**基本再生産数**（免疫を持たない人の集団で1人の患者から平均何人に感染するか）では、インフルエンザ1.3~1.8、新型コロナ1.4~2.5に対し、麻疹は12~18となっています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると、一生免疫が持続するといわれています。

## 麻疹の症状

感染後、10~12日程の潜伏期を経て、**39℃前後の発熱、せき、鼻水、目の充血、下痢、頬の内側に白い斑点（コプリック斑）**などの症状が出現し、**最も感染力が強い時期**です。その後1~2日以内に、**発疹**が現れ、徐々に全身に広がっていきます。発疹どうしがくっつき、大きく色鮮やかになり、さらに熱が上がり、せきや鼻水などの症状も重症化します。回復期に入ると、熱は下がり始め、発疹も消えていきます。合併症がなければ、発症から7~10日で回復します。

合併症としては、**肺炎、中耳炎**が多く、患者1000人に1人の割合で**脳炎**が発症するといわれています。重篤な合併症として、10万人に1人、麻疹が治ったあと数年~10年経って、**亜急性硬化性全脳炎**と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。



## 麻疹の予防

麻疹は感染力が強く空気感染もするため、手洗い、マスクのみで予防はできません。

ワクチン接種（一般にはMR（麻疹風疹混合）ワクチン）をすることで予防が可能で、95%程度の方が免疫を獲得できるといわれています。

2006年度から1歳児と小学校入学前1年間の2回接種制度が始まり、2000年4月2日以降に生まれた方は、定期接種として2回の接種を受ける機会がありますが、それ以前に生まれた方は、定期接種として1回のワクチン接種のみ、もしくは定期接種の機会がなかった方となります。



**周りへの感染に注意！** 症状出現の1日前（発疹出現の3~5日前）から発疹消失後4日位まで（または解熱後3日位まで）